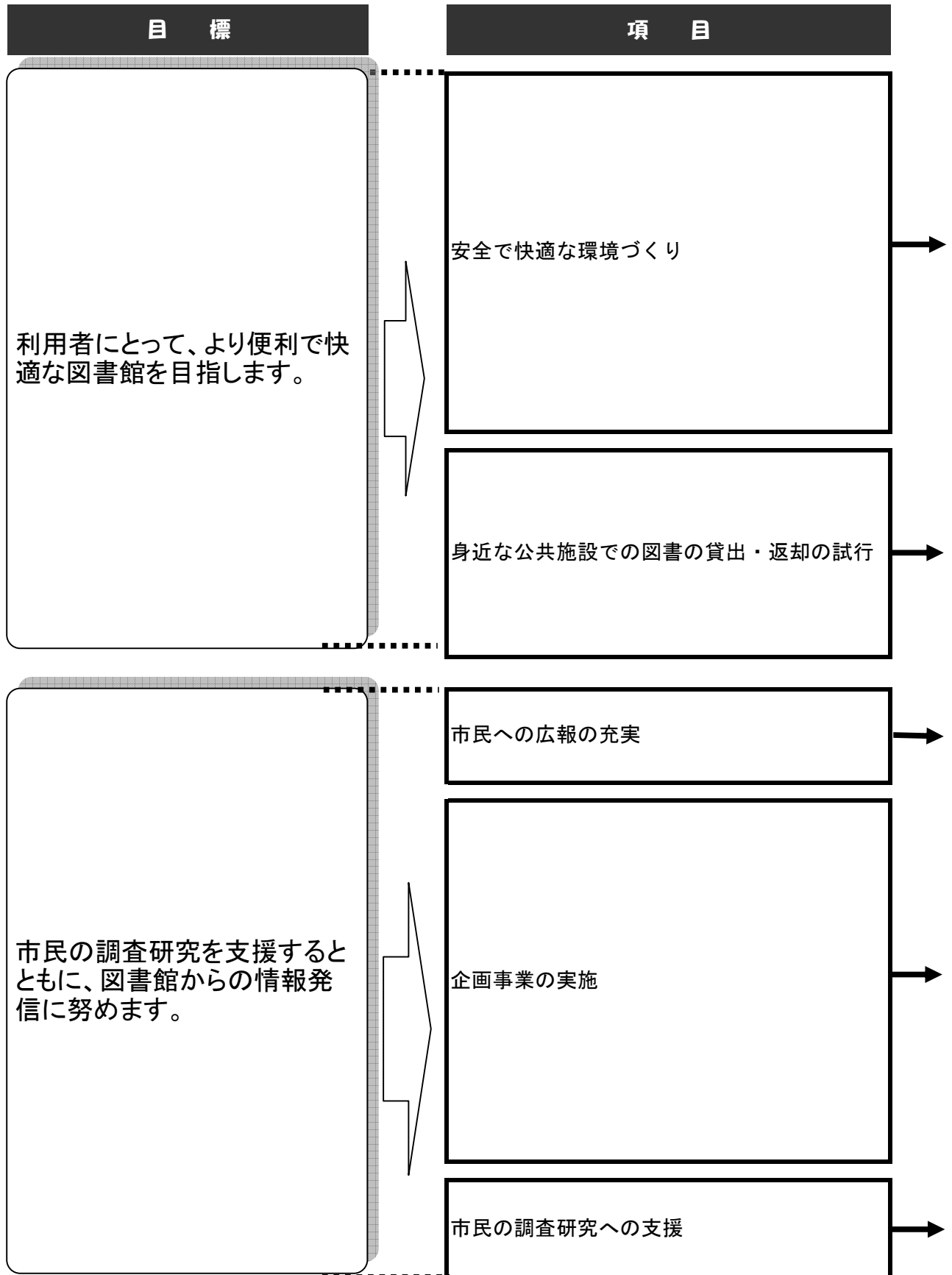


(2) 平成20年度 横浜市立図書館の目標

この「目標」は、中央図書館と17の地域図書館が進める事業の内容と取組姿勢について取りま

**基本目標**

**市民の課題解決や暮らしに役立つ情報を提供し、積極的な図書館**



とめたものです。

## サービスを展開します。

( )内は、実施場所及び達成時期

### 具 体 的 取 組

- ①AED(自動体外式除細動器)の設置など緊急時における対応力の向上に努めます。(全館、通年)
- ②館内における事故や盗難等の防止に努めます。(全館、通年)
- ③年2回、防災訓練を実施します。(全館、～3月)
- ④利用者が自由にインターネット情報を閲覧できる公共情報端末を設置します。(未設置の地域図書館5館、～3月)
- ⑤ISO14001<sup>注1</sup>の取組を進め、環境に配慮した事務事業を行います。(全館、通年)
- ⑥市民の不要本をリサイクルする場(リサイクル文庫)を提供します。(一部の地域図書館で試行、通年)
- ⑦利用者のマナーが向上するように日頃から働きかけを行うと共に、キャンペーンを実施します。(全館、10月)
- ⑧インターネットや利用者用検索機からの雑誌の予約を開始します。(全館、7月)
- ⑨保土ヶ谷図書館の耐震補強等再整備工事を実施・完了します。(10～3月)
- ⑩掲示物の場所等の見直しにより、分かりやすい掲示に努めます。(全館、通年)
- ⑪意見箱の設置等により利用者ニーズの把握に努めます。(全館、通年)

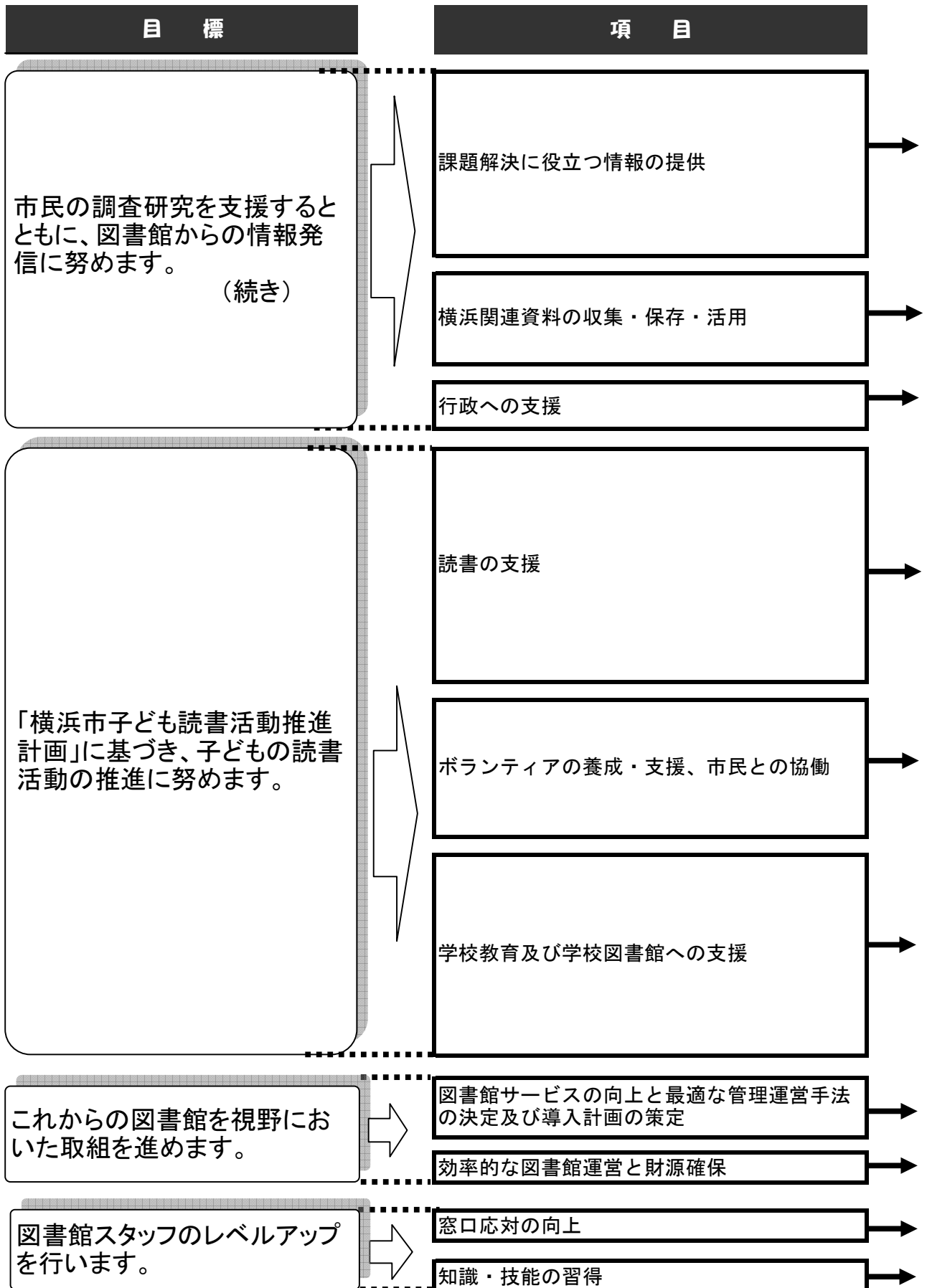
前年度に引き続き、利便性向上に向けて、行政サービスコーナーや地区センター、駅返却ポストなどでの図書の貸出・返却サービスを区役所と連携して試行的に実施します。

- ①旭区・二俣川駅、戸塚区・東戸塚駅の両行政サービスコーナーで図書取次サービスを実施します。(通年)
- ②青葉区と連携し、奈良、藤が丘、若草台、大場みすずが丘、美しが丘西の各地区センターと区民活動支援センター(田奈ステーション)で図書取次サービスを実施します。(通年)
- ③青葉区内の東急線・駅返却ポストについては、引き続き、市が尾駅、青葉台駅、たまプラーザ駅の3か所に設置します。(通年)
- ④緑区の長津田駅構内に返却ポストを設置します。(通年)

- ①図書館ホームページのコンテンツ<sup>注2</sup>の充実、分かりやすいホームページづくりを進めます。(全館、通年)
- ②図書館情報紙「@Lib」などを通し、図書館情報の発信に努めます。(通年)
- ③広報よこはま区版で図書館情報を提供します。(一部の地域図書館、通年)

- ①図書館の機能や所蔵コレクションの紹介を目的に、見学会を開催します。(中央図書館、～12月)
- ②開港150周年事業に向けた取組として、開港に関連したテーマの展示・講座を開催します。(中央図書館・一部の地域図書館、～12月)
- ③図書館開館記念事業を実施します。(戸塚図書館30年、栄図書館20年、泉図書館20年、～3月)
- ④横浜線開通100周年の記念事業を実施します。(中央図書館・神奈川図書館・港北図書館・緑図書館、～12月)
- ⑤市民を対象に情報検索講座を開催します。(中央図書館・一部の地域図書館、～12月)
- ⑥地域情報や市政情報の展示・公開を行います。(中央図書館・一部の地域図書館、～12月)
- ⑦教科書展示会を開催します。(全館、6～7月)
- ⑧他機関が実施する展示会やフォーラムで、資料展示やリストの配布などを行い横浜市立図書館を積極的にPRします。(中央図書館・一部の地域図書館、～12月)
- ⑨市内の大学と連携し、市民向け講座を開催します。(中央図書館、9～12月)
- ⑩区役所等と連携し、郷土資料の展示会などを行います。(一部の地域図書館、～12月)

- ①Eメールでのレファレンス<sup>注3</sup>を引き続き進めます。(中央図書館、通年)
- ②目録やパスファインダー<sup>注4</sup>を作成、提供します。(中央図書館、通年)
- ③レファレンス事例集の充実を図ります。(中央図書館・一部の地域図書館、通年)



注1) ISO14001：企業や自治体などが行う事業活動が環境にあたる影響を、組織的かつ継続的に削減するための管理システムを定めた国際規格のこと。  
 注2) コンテンツ：データベースに蓄積されたデータや画像・音声データなどの内容・中身のこと。

## 具 体 的 取 組

- 新** ①法律情報サービスの充実を図り、併せて裁判員制度の広報に協力します。(中央図書館、通年)
- ②医療情報コーナー、ビジネス資料コーナー、外国語本コーナーの資料の充実に努めます。(中央図書館、通年)
- ③市民の課題解決に役立つ情報を提供するため、テーマ展示を実施します。(中央図書館・一部の地域図書館、通年)
- ④インターネット情報を積極的に収集し、使いやすい形にして提供します。(中央図書館、通年)
- 新** ⑤市役所が所蔵する専門的な新聞・雑誌の情報収集に努め、図書館資料との連携を図ります。(中央図書館、通年)

- ①行政資料や郷土資料のほか地域情報の収集に努め、市民が必要とする情報を提供します。(全館、通年)
- ②横浜の歴史に関する資料の一層の活用と利用者の利便性の向上を図ります。(中央図書館、通年)
- ③文化財課と連携し、郷土資料等の企画展示を2館で実施します。(一部の地域図書館、～3月)

市政の業務遂行に必要な資料・情報を提供することで、行政サービス向上のための支援を行います。(中央図書館、通年)

- ①おはなし会や読み聞かせの講習等を通じて、幼児を持つ保護者に子どもの読書推進や図書館利用を促します。(全館、通年)
- ②全館に設置している「ティーンズコーナー」を通して、10代の人たちの読書習慣の獲得・支援、社会参加につながる情報提供を行います。(全館、通年)
- ③福祉保健センターや地域子育て支援拠点等と連携して、乳幼児向けのおはなし会や資料配布を行います。(一部の地域図書館、通年)
- ④保育園での出張おはなし会や保育士・職員に対する研修等を通し、読書活動と図書館利用の促進を図ります。(一部の地域図書館、通年)
- ⑤子どもの読書活動の推進と図書館利用の促進を目的に、読書スタンプマラソンを(全館、4～6月)、また、相鉄沿線図書館スタンプラリーを実施します。(保土ヶ谷図書館・旭図書館・泉図書館・瀬谷図書館、7～8月)

- ①読み聞かせ等ボランティア養成講座を実施します。(中央図書館・一部の地域図書館、9～12月)
- ②読み聞かせ等ボランティア交流会を6館で開催します。(中央図書館・一部の地域図書館、～2月)
- ③ボランティアのための図書修理講座を実施します。(一部の地域図書館、12～3月)
- ④市内の読み聞かせボランティアグループの研修会に司書を講師として派遣します。(中央図書館・一部の地域図書館、通年)

- ①児童・生徒の図書館見学や職業体験学習を受け入れ、内容の充実に努めます。(全館、通年)
- ②利用案内の配布などを行い、教職員向け貸出制度の普及に努めます。(全館、通年)
- ③学校図書館向けの図書展示会を開催します。(中央図書館、12月)
- ④司書教諭等学校図書館担当者向けの研修に司書を派遣します。(中央図書館・一部の地域図書館、通年)
- ⑤司書が小学校を訪問し、おはなし会やブックトークを実施します。(一部の地域図書館、通年)
- ⑥司書が「まち」とともに歩む読書活動推進校を訪問し、蔵書や運営に関する案内や助言を行います。(中央図書館、通年)

「横浜市立図書館のあり方懇談会」の提言を踏まえ、これからの図書館運営にふさわしいサービスのあり方と効率的な管理運営手法を、他都市の先行事例を参考にしながら、導入計画を策定します。(中央図書館、～12月)

管理運営経費の節減に努めるとともに、広告事業等により自主財源の確保を図ります。(全館、通年)

利用者へのあいさつ・声かけを励行し、親切・ていねいな対応に努めます。(全館、通年)

利用者の要望等に十分に答えられるよう専門研修を実施します。(全館、通年)

注3) レファレンス：利用者の調べものや資料の相談などに対し、必要とする図書館資料の紹介や提供、情報入手の手助けを行うこと。

注4) パスファインダー：ある特定のトピックに関する資料や情報を収集する手順を簡便にまとめたもの。